

月曜日のマナ 2020.1.20

ビジネスにおける神聖さ

経営者や従業員、顧客、サプライヤーに対して最も重要だと思う特性を明らかにしようとしているとしましょう。彼らはどんな人でしょうか？能力やスキル、信用度、効率性などがわかりやすい判断基準になるかもしれません。では神聖さということに関してはどうでしょうか？

神聖さとは何でしょう？この言葉を聞くと、何か宗教的な人や儀式、例えば、世の中から全く離れた規則正しい修道院での生活などを想像します。しかし、そうすることが「神聖である」ということではないのです。

辞書には神聖さとは「聖人のような状態」と書かれています。また、同義語には「祝福されたもの、敬虔さ、信心深さ、慈悲深さ」などがあげられます。これらの言葉は少なくとも今日においてビジネス業界では関係ないように思えます。しかし、最近私はある講師が神聖さについて「全き人、品性があること」と定義しているのを聞きました。

そうであれば職場の人たちや、お客様、サプライヤーの人たちの神聖さに気づくことが大切だとおもいませんか？また、お互いの中にある神聖な性質に気づくことが大切なのではないのでしょうか？

神聖であることを示す人がいたろうかと考えると、私はすでに今まで何人かに出会っていたことを認めざるを得ません。私のキャリアにおけるさまざまな状況で出会った何千人もの人たちのことを思い返すと、明らかに神聖さ、並外れた全きさ、品性、謙遜、慈悲、正しさ、正直さを示している人がいました。彼らは前述の講師が意味する神聖さをもっていたのです。

この考えに対してどう思いますか？どうやって他の人の神聖さに気づくのでしょうか？自分自身の神聖さについてはどうやって高めていくべきでしょう？聖書ではこう提案しています。

神聖であることの模範者を見つけ、その人と同じようになりなさい。

あなたが知っている人の中で全き人であり、品性や徳といった、神聖さを持ち合わせた人はいますか？もしそのような人がいるのであれば、その人を自分のメンターもしくは師匠として、共に時間を費やしましょう。そして、彼らのように同じように人々にポジティブな影響を与えられるようになりましょう。

「わたしから学んだこと、受けたこと、わたしについて聞いたこと、見たことを実行しなさい。そうすれば、平和の神はあなたがたと共におられます。」ピリピ 4:9

「そして、多くの証人の前でわたしから聞いたことを、ほかの人々にも教えることのできる忠実な人たちにゆだねなさい。」第二テモテ 2:2

新しい考え方を持ちなさい。

私たちは、神聖であるということになじみのない世の中に生きています。そのため、世間は私たちを変えようとしています。強い意志をもつことで、私たちはプレッシャーに負けず、さらに高みを目指していくことができるのです。

「あなたがたはこの世に倣ってはなりません。むしろ、心を新たにしておいて自分を変えていただき、何が神の御心であるか、何が善いことで、神に喜ばれ、また完全なものであるかをわきまえるようになりなさい。」ローマ 12:2

聖なるものとなるために力を得なさい。

イエス・キリストの人生と同じ道を歩むものは、イエスによって新しい命、新しい生き方が与えられる、と聖書は教えています。

「だから、以前のような生き方を情欲に迷わされ、滅びに向かっていく古い人を脱ぎ捨て、心の底から新たにされて、神にかたどって造られた新しい人を身に著け、真理に基づいた正しく清い生活を送るようになさなければなりません。」エペソ 4:22-24

もっと深めるために：

1. 聖なるもの、神聖さと聞いた時に脳裏によぎることは何ですか？神聖さを持ち合わせた人、もしくは生活の中で神聖さを示した人に会ったことはありますか？どのような人ですか？
2. ビジネス業界で神聖さと聞くと、なぜおかしいのでしょうか？
3. もし、クリスチャンであるならば、あなたは自分が生まれ変わったという経験がありますか？まだイエスを受け入れていないとしても、霊的に新しく生まれ変わることを、神聖さを経験するということは魅力的ではありませんか？
4. あなたは自分の業界で神聖さを示す人になりたいと思いますか？それはどのような人としてでしょうか？どうやって神聖さの質を高めていきますか？

参考聖書箇所リストです。参照ください：

ヨハネ 15:1-17・ローマ 6:4・第二コリント 5:17・ガラテア 2:20・ピリピ 4:13・コロサイ 3:1-10

この発行はロバート・J・タマシーによって書かれました。月曜日のマナ®はCBMCより毎週発行しているメールマガジンであり「ビジネスとマーケットプレイスをキリストに」の世界的働きで、利益を求める活動ではなく、超教派で、1930

年に創立され、各業界で働いている従業員、又、経営者ヘイエス・キリストを宣べ伝える事を目的としています。